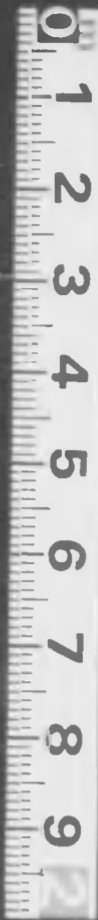
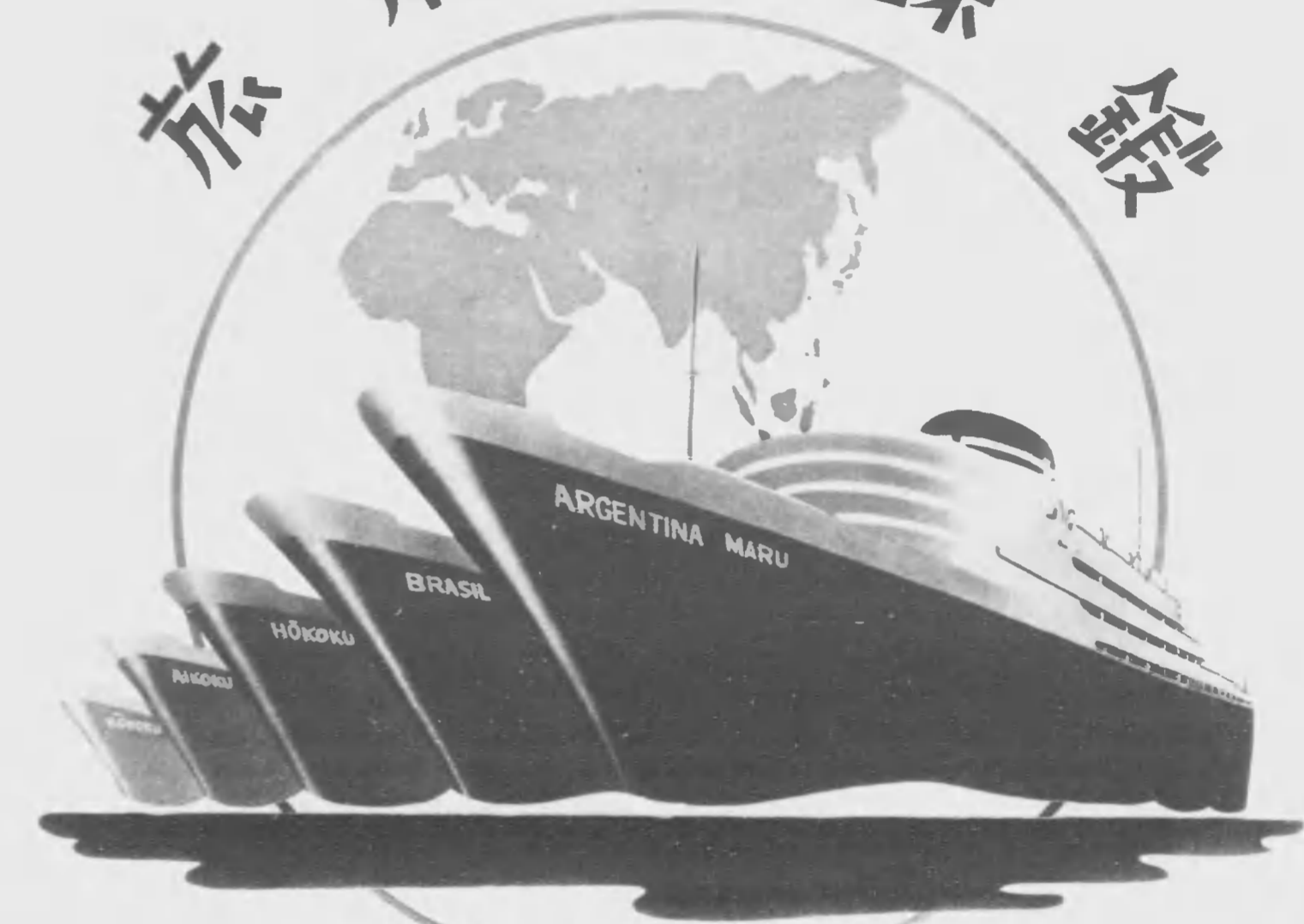


週寫眞  
報

編輯部報情閣内  
ンセ十・號七卅百第・日九月十



# 旅船の錬製



満洲へ

台湾へ

沖繩へ

横濱—神戸間  
神戸—門司間

大型船の旅

## 大 阪 商 船

# 外交の 新しきかど出



日露伊間の三國條約は九月二十七日つひに成立した。天皇陛下には條約の成立に當り、畏くも詔書を喚發あらせられ、國民のむかふ所をお示し遊ばされたが、近衛内閣總理大臣また、大詔を拜して内閣告諭を發し、同時に松岡外務大臣も講話を發して新しい國際關係に處する帝國の方針を明かにし、國民の確たる態度を要望した。

三國條約の成立によつて日露伊の樞軸はこゝに強化され、三國共同の理想である各國をしてその所を得させようとする世界新秩序の建設は一段と促進されるであらうが、大東亞の指導者としての帝國の使命と立場はこれとともに愈々重大を加へることを思へば、われわれ一億同胞眞に心を一つにして今こそ一大決意を固めなければならない。

當眞上は三國條約成立の夜外務大臣官舎で乾杯する（右から）オット獨大使、インデリ伊大使、松岡外相、星野無任所相、東條陸相、下はベルリンの總統官邸に於ける調印式右から來栖大使、リッペントロッツ獨外相、チアノ伊外相（電送）



# 欺瞞と矛盾の舊世界秩序



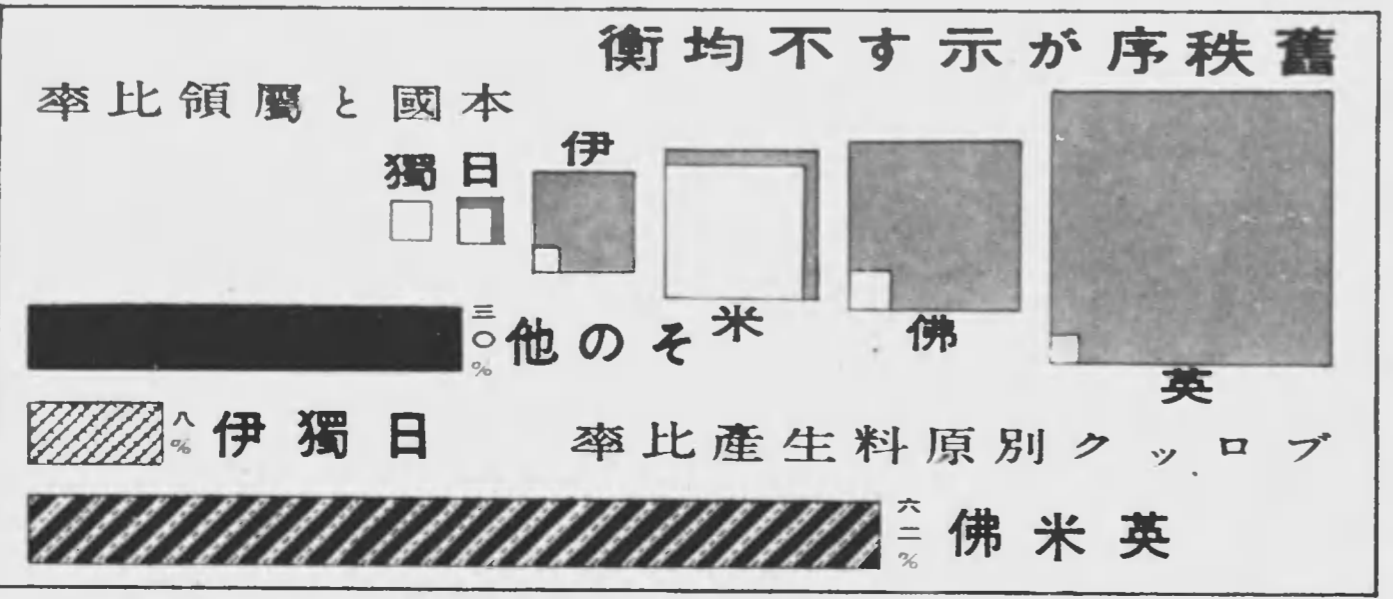
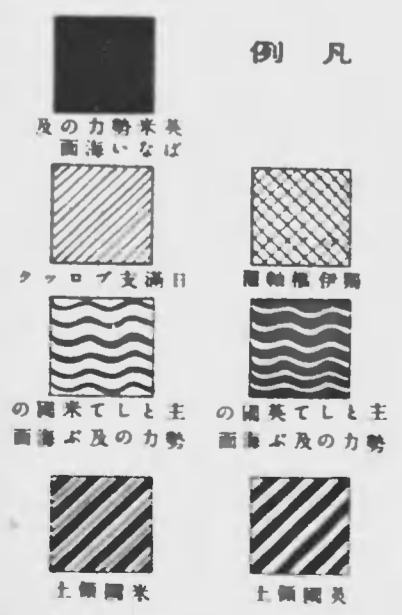
東京

重慶

マール

イワ

例凡



日獨伊三國條約の成立によつて、三國はそれ／＼東亞及び歐洲で新秩序の建設といふ共同目標に向つて一致協力、力強い一歩を踏みだしました。

さきに防共協定を結んで固い精神的結合を表明した三國が、あれから四年後の、しかも一世紀をこの間に押し縮めたやうな世界情勢の目まぐるしい變遷の中にあつて、共通の世界觀から三國條約が結ばれたことは當然の結果であるといはねばなりません。

三國が結ばれる必然さとは何でありませうか？ これはいふまでもなく帝國主義的侵略によつて富や領土を必要以上に獲得し、占した英米が、歴史の流れを無視して、彼等が固執する個人主義に根ざした所謂世界新秩序を何處までも強制して、自分達にばかり都合のよい状態を維持しようと、ことごとくに經濟的な壓迫と不當な干渉を續ける國々の態度に起因するのです。しかし歴史の流れは寸時のよどみもなく絶えず前進してゐます。こゝに懸れる古い體制が、生活の旺盛な新しい勢力に崩される運命にあるのは當然でせう。この現れが、即ち期せずして東亞と歐洲に發展した新秩序の建設運動です。つまり英米等の舊秩序を維持しようとすると、國々の不當な壓迫と妨害とに對して三國がとらざるを得なかつた當然の態度が今回の三國條約となつて現はれたのです。

ドイツはヴェルサイユ條約の重壓と暴戾を、イタリヤは貪食な國々の甘言と壓迫の不渡手形を、わが國は東亞における不當の手續を打切つて、共に新興民族の共榮を確保するためにその樞軸を強化したのであります。上國が語る！ 勃然と盛り上つてきたこの世界新秩序の建設を、敢へて「金權と強權」で阻止しようとする舊秩序維持國家群の飽くなき貪慾の姿を——（讀物頁参照）

昨年九月、ポーランド進軍の火蓋を切つて以来、ドイツが擧げた戦果は正に史記の筆墨にあり。前大戦において、一敗地に墜れたドイツは二十有餘年の今日、この國天の大業を成就した。ヒトラー總統の烈々たる改革の偉業は、大なる人格、政治的天才によるのは疑いなく、その背後に全ドイツ國民の火のやうな愛國心と不屈の獨逸魂のあることを忘れてはならない。これは恥である。しかし敗れて起らない「恥」だ。ドイツ國民は泣いて再起を誓ひ、戦後國內の混亂、生活の窮乏をのりこえて遂に今日に至つたのである。



一九三二年 前世界大戦に敗れたドイツは英佛側のおもむきなき窮乏に加へて深刻な國內闘争の十數年を経験せねばならなかつた。ユダヤ人の謀略、共産主義の政策、國內は血闘の殺戮と破壊に充たされた。



ベルサイユ條約によつて一千億マルクといふ龐大な賠償金を課せられたドイツの經濟、産業界は混亂の極に達し、恐ろしいインフレーション時代を現出した。日方で賣れるマルク紙幣

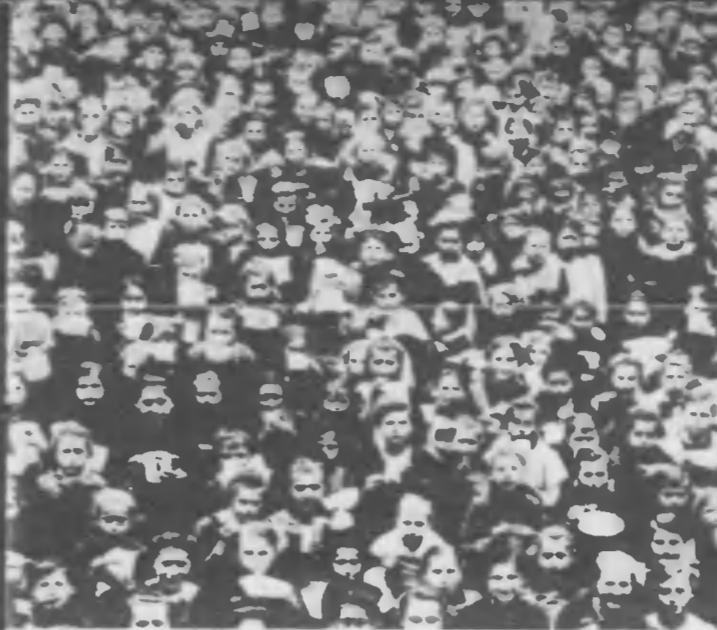
現在の日本もまた有史以来の困難に遭遇してゐる。これを克服し、支那事變の完遂を期し得るものは、唯御機成の下、一億國民の烈々たる愛國心と大和魂の發露あるのみである。日、獨、伊三國協約が成立して、世界に新しい歴史の幕が開けようとしてゐる今日、國難のどん底から立ち上つて、同じやうな民族の運命を開拓してきたドイツの苦心の跡を辿つてみようではないか。

一九三三年 物資の缺乏に件つて國民の生活は悲惨の極に達した。禁食の不足から流汗する妊婦、餓に苦しむ愛児を抱いて狂氣する母、食を求めてさまよふ幼童兒童の群はまさに地獄を思はせる。

一九三三年 不逞不屈の獨逸魂は、ヒトラーの出現と共に十數年の苦境を克服した。この年一月三十日、遂にヒトラーを總理とする内閣は成立し、ドイツ第三帝國獨立の輝かしい第一歩を踏み出したのである。

一九三四年 八月十九日、人民投票の結果、ヒトラー總統を最高指導者とするナチス・ドイツが完成されるや、直ちに對外的な活動を開始、一九三五年三月一日にはザール地方がドイツに復歸した。

一九三五年 ナチス外交はその出發においてザールの大勝利に勢ひを得、更に三月十一日には空軍の復活、同十六日には義務兵役の復活を發表して全世界驚愕の中に再軍備を宣言實施した。



ヒトラー總統が政権を獲得した時、總統は先づ家庭生活が昔の状態に歸らねばならぬと叫んだ。母と子を保護し、ゲルマン民族の純潔を保ち、輝かし、ドイツ國民を將來に準備することが不可欠の處置であつた。

六百餘萬の失業者救済のために計畫された土木事業のうち、國營自動車専用道路の建設事業は、ドイツ第三國家の事業の表徴とされ、單に失業者救済問題を解決したばかりでなく、自動車工業の急速な發展を促した。

滿十八歳から二十五歳までの全ドイツ青年は六月間銀とシャベルを操つて國家に奉仕する義務がある。この勤勞奉仕によつて全ドイツ青年はヒトラー總統の行動の精神を學ぶのだ。

ナチス政權確立以來僅か數年にしてドイツの各生産部門は飛躍的發展を遂げた。各生産部門内の組織が改革されて全従業員が一丸となり、眞に勤勞奉仕の精神を以て偉大な生産力を發揮したのである。

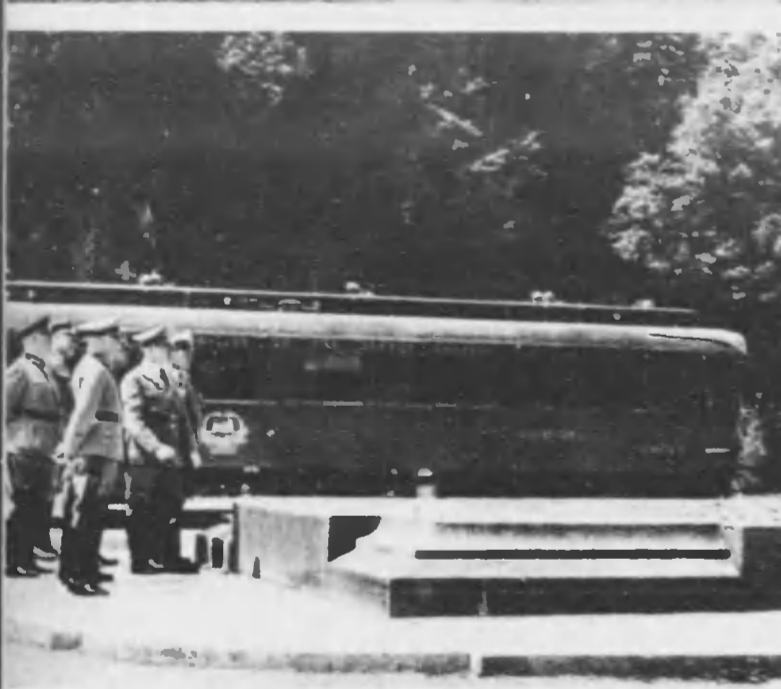


一九三八年 三月十三日、疾風迅雷無血の裡にオーストリアを合併してドイツ多年の懸案を一舉に解決したが、同九月二十九日にはミューンヘン會議の結果ズデーデン地方もドイツに割譲された。

一九三九年 九月一日、ドイツは歴史的なポーランド進軍を開始し、三日には英佛と戦争状態に入つた。英佛依存的なポーランドを脅かすと共に、英佛の全權政治に對して最後の總決算を挑んだのだ。

一九四〇年 北佛ロンビエーヌの森の製空艇でドイツが屈辱的な休戦協定調印を強ひられてから二十三年目の六月二十二日、ドイツは驚々たる勝利者として同じ製空艇で對佛休戦協定に調印した。

ドイツ空軍のロンドン空襲は益々猛烈を極め、ましても大ロンドンもその機能の大半を失つた。ドイツ空軍はザールリング空軍の指揮の下に歐洲秩序の癆を根こそぎ滅しようといふのだ。





アルプスを越えてドイツと、海を渡って日本と固く手を握り合つた新興イタリアも亦第一次大戦後の疲弊と混乱のどん底から立ち上りムソリーニ首相の統率の下、粒々辛苦今日を築きあげたのであつた

ヴェルサイユ條約の不正な枷を強ひられたのは戦敗國ドイツだけではなかつた。戦勝國イタリアも亦その下に閉ぢこめられたのであつた。「イタリアは斷じて地中海の主人たり得ない」とのムソリーニ首相の叫びはそのまゝ、イタリア國民の聲であつた。事實、エチオピア併合以來イタリアの國運はフランスの政策の實行によつて年と共に伸び、南歐に著々強力な地盤を築いてきた

こんどの歐洲戰爭勃發するや去る六月には敢然として参戦、志を同じくするドイツと共に歐洲新秩序建設の戦ひに國家の総力を動員して輝かしい戰果を収めてゐる。近代文明の光榮ある創始者たるイタリアが今や更に日本と相携へ、再び地中海をわが海として世界新秩序建設に大きな役割を果す明日の活躍こそ期待して期待するものがあらう。こゝにイタリア最近の國情を紹介する。



# イタリアの足音

◁ 獅子吼するムソリーニ



**◁ イタリアの軍備**  
地中海を東西に縦断するイタリアの軍備は同時にイタリアの生命線でもある。エチオピア征服の餘勢に乗じて地中海の強化に乗り出した伊海軍は地中海を「ローマの海」とたらしめようと燃々たる希望に燃えてゐる

**◁ マルタ英軍港爆撃に向ふイ空軍の編隊**  
イギリス地中海艦隊撃滅に活動する精銳、前より主力艦カブール波、シーザー突

**◁ すばらしい重工業**  
輕工業では織機工業を主として、世界有数の生産國であるが伊戦争以來重工業方面も急速に發展、飛行機、自動車、造船、造兵等各工場は軍需機材の製作に大馬力である。殊に航空機製作に關しては現在、スピードに高度に國際記録四十餘を獲得してゐるのを見ても優秀な技術のほどが窺はれる。廣大な陸上試走路をもつファイアット自動車工場

**◁ チルノの運動**  
國家再建は青少年の訓練からイタリアを防衛する次代のファシストを養成するため六歳から二十一歳までの男女青少年を九部隊に分つチルノを編成、信義、服従、闘争をモットーとして心身の鍛錬、團體訓練を行つてゐる

**◁ 餘暇善用運動**  
ファシスト大衆の文化施設として國營のドボヴォーロ(仕事の後)運動がある。趣味、體育、社會保健事業等各方面にわたり餘暇善用の實を擧げてゐる。工場に於ける巡回樂團の演奏

**◁ 駒を進めて國境を越える**  
去る六月世界新秩序再建のため勇躍参戦したイタリアはドイツ軍のフランス進駐と相呼應し直ちに作戦行動を開始した。國境を越えてフランスへ進軍するイタリア軍の精銳















**☆代用皮革** 伊ヶ崎吉一

町長アリンゴをチロロ  
見せアリンゴをチロロ

**☆國策散步** 清水良甫

**☆南も寒い** 淺田シヲ

部下「閣下、南に来ると流石に寒い  
ありますよ」  
「許御軍」といってもないわしやだん  
だん寒くアル」

**☆動力節約** 三浦よづる

君たち、動力削減もエ、エ、エ  
動力も節約せんといかんぞ

**寫真週報回答**

(問) 国民服の種類、価格や  
儀禮章の着用方法をお知らせ  
下さい。なほ国民服に帽子は必  
要でしょうか

(答) 国民服の種類、価格は別  
表の通りです  
儀禮章は従来左の胸にのけるこ  
とに変わりました。近右の胸  
にのけるや、改正されたものとす  
儀禮章は着用として用がたります  
が、本表の場合には、これを左の  
胸章をつけて、帽は今のところ  
何でも結構ですが、いふ外表はこ  
うです

種別	衣	袴	中	衣
一 號型	四、五〇〇位	二、〇〇〇位	六、五〇〇位	六、〇〇〇
二 號型	四、七〇〇位	二、二〇〇位	六、八〇〇	六、三〇〇
三 號型	四、九〇〇位	二、四〇〇位	七、〇〇〇	六、五〇〇
四 號型	五、一〇〇位	二、六〇〇位	七、二〇〇	六、七〇〇

(問) ルーズヴェルト、ヒト  
ラー、ムソリーニ、チャーチ  
ル、ヘタン、スターリン、フラ  
ンコの本當の名前を

(答) 指導者國家 (Hitler  
Stalin) とはドイツのやうな國家の  
ことを申します  
ナチスの見解によりますと、従来  
のやうに投票によつて得た多数派が少  
數派を壓迫して權力を恣にする  
といふやうなやり方、つまり個人  
主義、議會主義、民主主義の國家で

は興隆を期し得ない。民族が眞の  
國家に形成されるためには、常に一  
定の方向、即ちナチス的に統一指導  
されねばならぬ、といふのです  
この原理に即して、ナチス黨が國  
家を指導し、國家がその指導方向に  
沿つて統治するのです。指導者國家  
とは、さういふ意味のものつす  
指導者は勿論現在にはヒトラー總統  
です。ドイツ軍律法によりますと  
指導者は能力、態度、志操により  
て軍隊を指揮するといふもの  
です。ですから指導者は權力がなく  
て、權威を以て國民にのぞむことと  
なります。ドイツにも國民投票はあ  
ります。しかし指導者のやることに  
は全部賛成を要するやうに、黨が國民  
をナチス的に教へこんでゆくので、  
反対のあるはずがなく、これが指導  
政治であり、また專制政治、獨裁政  
治と根本的に違ふ所といはれます

週報臨時號  
**新體制早わかり**  
新體制とは何か 國民の一番  
知りたがつてゐるこの質問に、答  
へるのが本書である。大政翼賛運  
動の本質を推し、特輯パンフレッ  
ト。六四頁 五錢

十月七日發行

**「國民進軍歌」**

一 この陽、この空、この光、  
アジヤは明けの 巖かに。  
燃える希望の 一億が  
傷痍の勇士 背に負うて、  
いま 踏みしめる 第一歩  
使命にこぞる 進軍だ。

二 その血、その肉、その生命、  
國に捧げた 忠魂に、  
盡きの感謝の 一億が  
はまれの遺族 守り立てて、  
いま 足音も 高々と  
理想つらぬく 進軍だ。

三 あの子、あの父、あの夫、  
皇國の楯と 征きに征く。  
奮ふ銃後の 一億が  
つはものの家 扶けつ、  
いま 前線に 呼應して、  
聲もとどろく 進軍だ。

四 わが身、わが意氣、わが力、  
心一つに 協せつ、  
固い覺悟の 一億が  
歸還の勇士 先立てて、  
いま 大陸に 大洋に  
國をあげての 進軍だ。

撮影 東京日々新聞社

# 銃後奉公強化運動

十月七日 十一月一日

## 光の庭

主演 佐川 豊 村田 春子

原案 長瀬 喜伴 脚本 津島 隆彦 監督 津島 隆彦

東宝 大船塀 製作

「あつ」

と思つた瞬間、佐川慎吾は危く、停留所の標識で身体を支へてゐた。彼を押し除け、先を争つて乗りこんだ乗客を乗せて、バスは忽ち立去つて終つた。草をつけておぼつかつたから、彼が右足に義足をつけてゐる傷痍軍人であることを誰も気がつかなかつたのは仕方がないかも知れない。然し、もう驚りで歩けるやうになつたのだから、これ以上世間の同情に甘えるべきではないと思ひ、わざと義足を備用せずに家を出た彼は、堪らない氣持であつた。

次のバスを待ちながら、厳しい規律の中にも、温く助け合ひ信じ合つてきた戦場の生活をふとなつかしく思ひ出した。

2 慎吾の、出征前の勤め先である化粧品会社の社長杉山三郎は、同郷の先輩であつた。



「村田から、手紙が来るか？」

「ええ、……孤獨な者が孤獨な者へ寄せる同情、そんなものが前後の考へもなく、かうさせたらんだけれど、……皆、誤解して、私と村田さんの間に何かあるやうに言ふのよ。一時は、後悔したんだけど、……可哀相に、春子ちゃん、こんな私でもすつかり頼りにしてゐるので……もう離れられないわい」

「さらか、まあ、しつかりやるんだな」

奈代の平生を知つてゐる慎吾は、心からさう言つて置きました。

らないのだ。勤めのひまにする仕事だから僅かの金にしかならなかつたが、それが春子ちゃんの御菓子になるのだ、と思ふと、やめられないのである。それ程にしくとも、経済的援助はしてやるから、と杉山家で言ふのだが、自主心を鈍らせる故、出来るだけ金銭上の援助はしないといふのが母子寮の立前であつた。それは正しかつたし、奈代は率先して皆に範を示すつもりで杉山家の中を出て固辞してゐるのであつた。



4 栗原奈代は、会社がひけてから、授産所へ寄つた。春子ちゃんがお腹をすかして待つてゐるだろう、と思ふと心は急ぐのだが、でき上つた編物を届け、また新しい仕事をもらつてこなければならぬ。

の子供をかかへて出征の留守を護るといふ小母さんにも仕立物を持つてやつてきた。それを見ると、疲れた奈代の心にも又新しい勇氣が湧いてくるのであつた。

月出征したばかりの杉山家へ、退院の挨拶に訪ねてきたのだ。

前から、家族のやうに出入りしてゐた彼を、夫人の明子は、親しく迎へてくれた。

「先づ、あれを御目にかけなくつては、ほら向ふに建てゐるのが、豫ねてお話ししてあつた私設母子寮なの？」

カーテンを開いた窓から見ると、廣い芝生を隔て、昔々木林であつた通りに、アパート式の建物が一棟建てられてゐる。

「ほう、豫想以上に立派ですね……」

慎吾は、それを見ると、途中、心にうけた打撃も消え去つて、晴々とした氣持になつた。

「結婚して八年にもなるのに、未だに子供が無くて、閑な身體なんですもの。せめて会社関係で出征なすつた御家族のお世話でもして上げなかりや……貴方も会社へ出る迄、この御仕事手傳つて頂けません？ 妹も、すつかりい、保母さんになりませう」

3 静江の案内で、慎吾は、母子寮を見て歩いた。

「國家でつくる母子寮だけでは逆も足りないんですものね。姉が思ひ立ちましたの、義兄も私も大賛成ですわ。今の處四十八人の方が住んでおられつしやるのですけれど、皆さん逆も眞剣に働いてらして、私など取扱いのことばかりですわ……あら、向うから来たの、栗原奈代さんよ、貴方と同じ販賣部のタイピストをしてゐた方、お父さんとお母さんを次々喪くして、孤兒になつて終つたのよ……」

8 「ああ、聞いておます、何だか、應召した、矢張孤獨な、村田工員の遺児を與つて世話しながら、こゝから会社へ通つてゐるさうですね」

「どうして、知つてゐらつしやるの？」

「前に、よく見舞に來てくれましたので」

「さう……栗原奈代が小走りに駆け寄つて來た」

「やあ、昨日、退院したよ」

「さう、よかつたわ、元氣漸刺としてゐるわね」

「ははは、元氣漸刺はよかつたな、處で春子ちゃんはどうしてゐる？」

その時、『先生』『先生』と、遠くから子供達の呼ぶ聲が聞えて來た。『ちよつと、失禮』静江は、子供達の方へ驅けて行つた。



5 杖を離れて、自由に仕事ができる迄、慎吾は杉山家に起居して母子寮の世話をする事になつた。先づ、午前六時には一同を集めて朝禮の會をする。點呼、宮城進拜、續いて皇后陛下御歌の奉讀……にはをしのびてすくすくやからる。

女子供達は聲をそろへた。次に行ふラヂオ體操を軍隊式に改めたのは、子供達の熱心な希望によるものであつた。慎吾は、不自由な足を忘れて元氣よく號令をかけた。七時になると、母親達は、子供を靜江に頼んでそれぞれ仕事に出かけてゆくのである。



毎朝缺かした事なかつた明子夫人が、朝の  
會に委をみせない日が続いた。慎吾は半ば詰るや  
うに理由をたづねた

「實はね、奇蹟が起きたのよ、赤ちやんが生れる  
の。三郎もどんなに喜ぶでせう。すつかり諦めて  
ゐたのですから。さうなると、女は矢張り子供を  
立派に生んで育てるのが務めぢやないでせうか。  
私の我儘かしら。でも、お仕事はやめやしません  
わ、氣まぐれに始めたんぢやありませんもの。そ  
れに就いてね、慎吾さん、この間から静江が言つ  
てゐますの。突然で失禮かも知れませんが、  
あなたと結婚して、御不自由な御身體を助けて上  
げる事が出来たらつて。どうでせう、静江の  
氣持、わかつて頂きますか？」

秋、冬と過ぎて、四月のある日――  
母子寮の中の一軒の主人が目出度く歸還して、  
さうやかな歓迎會が催された



歸還勇士を圍んで、久しぶりのびくとした  
女達は、設けられた壇に上つて、歌をうたひ、勇  
士達も得意の浪花節をうたつたりした  
そのよるこびのさ中に、邸の二階から、元氣の  
いゝ赤ん坊の賑々の聲が聞えてきた  
明子夫人が無事出産したのである  
その夜、何故となく遠瀬な氣持になつた静江  
は、慎吾に思ひ切つて言つた  
「半年お待ちしましたのに、あなたは、何ともお  
返事をして下さらないのね」  
「御好意は有難いと思つておます」  
然し、慎吾にしてみれば、静江の自分に對する  
同情といふものが、高い所から物を悪むやうな氣  
持から出てゐるやうに思はれ、彼女の厚意を受け  
かねてゐるのであつた

栗原奈代の顔色がこの頃餘りすげないので、  
慎吾は、無理に醫師の診察をうけさせた  
すると、過勞の爲全身的に衰弱し、多少呼吸器

が痛められてゐるとの事で、今静養すれば完全に  
健康をとり戻せるが、この儘無理をすると、取返  
しのつかない事になるとのことであつた  
早速静養するように奈代へ勧めに行つた静江は  
浮かぬ顔で歸つて來た  
「どうしても嫌ですつて。あたしは軍人の遺族で  
もなんでもないから、そんな事をして頂いてはす  
みません。それに、春子ちゃんを責任を持つて預



が痛められてゐるとの事で、今静養すれば完全に  
健康をとり戻せるが、この儘無理をすると、取返  
しのつかない事になるとのことであつた  
早速静養するように奈代へ勧めに行つた静江は  
浮かぬ顔で歸つて來た  
「どうしても嫌ですつて。あたしは軍人の遺族で  
もなんでもないから、そんな事をして頂いてはす  
みません。それに、春子ちゃんを責任を持つて預

かつてゐるんですからつて――いくら言つても、か  
うなものですもの、孤獨な人つて、どうして、あ  
んな風に素直になれないのでせう」  
静江はそんな感情的な言ひ方をした。慎吾は自  
分で行つて見ると、奈代は、脊中を丸くして繻物  
をしてゐた  
「私の病氣が重くなり感染する危険があるや  
うにでもなれば、その時は何處かへ行きます。春子  
もそれ迄は、春子ちゃんを離れません。春子ちゃん

奈代と結婚したい、といふ自分の希望が一時の  
感情に驅られたものではないか、といふ事を十分  
確めるには、可成の時間を必要としたが、漸く心  
も決まつて、明子夫人を通じ奈代に話して貰ふこ  
とにした  
その前に静江の了解を得て置きたいと思つて、  
率直に自分の氣持を話した  
「さうして上げて頂戴、貴方を助けて上げた  
と思つたのですけれど、上げた、等と思つて

ゐる間は、まだ一駄目なのね、今の仕事をして  
ゐる私の氣持の中にも、さういふ駄目なところが  
澤山あることがやつと判りましたの……」  
静江は涙にうるんだ目を伏せた  
「あなたの御好意は忘れません」  
頭を下げる慎吾に、彼女は靜かに首を横にふり  
微笑んでみせた

奈代を漸く説得した慎吾が、彼女を湘南の知人  
に托して歸つてくると、静江が玄關へ飛び出して  
きた  
「お義兄様が、戦死なすつたの！」  
慎吾はふいに右足の義足がぬけ落ちたやうな心  
持がした。急いで二階に上がつてゆくと、燈りを  
あげた佛前で、子供を膝に抱いた明子夫人が、靜  
かに掌を合はせてゐた  
やがて、ふりかへつた夫人は、帯の間から一枚  
の葉書を取りだして、慎吾の方へさし出した  
――これから第一線へ赴く。子供を立派な日本



人に育ててくれる事、お前は、お前が信念をもつ  
て始めた仕事を力の限り續けてくれること、私の  
希望はそれだけだ。三郎  
きちんとした横書でした、めであつた  
「この葉書が届いて、二時間もしないうちに戦死の  
お報せを受け取りましたの。……私一人の力では、  
夫の遺した言葉を何處まで守り通せるやら……  
……色々な事もありましたが、どうか此の後も、  
私のさうやかな仕事を助けて下さいませ」

三郎の英霊も歸り、葬式もすませて間もなく  
六ヶ月の静養で、すつかり健康をとり返した奈代  
も歸つて來た  
それぞれ、大きな悲しみと苦惱を乗り越えて、  
杉山家と母子寮の、新しい生活が力強く始まる  
共同の生活、共同の運命に、しつかり心を結び  
合はし、明日を築く此處の世界を表徴するやうに  
春子ちゃんも、明るく朗かに成長してゆくのであ  
つた



# 大陸の學生報國隊



暑中休暇を利用して大陸建設に汗の奉仕をしようとする支那学生、渡来した各大学専門学校の学生隊は夫々各地に活躍、現地の多大な感謝をおみよげに先頭隊東した。支那は北支に向つた學生報國隊並びに中支派遣隊の活躍振り

大陸に建設の熱を入れる喜び、思はず力が入る。こゝがかつての激戦地だ。興亞の礎石となつた陸軍隊將兵の尊い血潮を流して無駄にしてはならない。土を掘るみんなの胸に堅い決意が通ふ

交通調査、日本側警備區域を中心に蘇州河越えて出入する者の統計をとるのだ。虹口側の橋の袂には工部局の巡警と陸軍隊の哨兵が仲好く立つてゐて、隣接都市上海の明朗な姿をあらはしてゐる

撮影 支那方面艦隊報連部



上海南京路の約十三萬坪には海軍の長忠塔とそれに附屬した公園が造られることになつてゐる。指導官友成中佐の話では、總工費は七十萬圓でそのうち幾分でも寄附を仰ぐ豫定にしてゐたところが、この話を聞いた上海居留民團では早速十七萬圓の寄附をよせたさうだ

ぐ浮んでくる。現地では、海軍の指導下に、お互ひにしつかり手を握り、眞剣に奉仕作業が行はれてゐるのだ。そこには一分の隙も緩みもない。上海でのわれわれの勤務作業も、此處で道路の建設に當ることであつた。あちこちに近頃出来た誇りの舗装されてゐない道路が延びてゐる。作業は、モッコを担ぐ者、土を掘る者、道を均す者、三列に分れて始められた。土を掘つてゐるとよく人骨が出てくる。それもその筈、この邊一帶には上層頭が多いのだ。その上、事業當時は戦國の一番激しかつたところで、支那兵の戦死者もあるかも知れない。何れにしても餘り好い氣持ではない。三十分もスコップを掘つておれば流れるやうな汗だ。三十分働いて十分休

むといふやうな調子だが、建設に従事する喜びは何物にもかへがたい。自分達の手で少しづつ延びてゆく道路を眺めてゐると、躍りあがりたいたやうな喜びが湧いてくる。夏草の茂みの中では人おちしない鶯がしきりに鳴いてゐる。青葉前フランス人の病院だつたといふ赤煉瓦の建物が原つばに壊されてゐる。その隣にはいづれ支那貴人の墓であらう、石の塚に圍れて豪華な石碑が建つてゐるが、いづれも数日中には取壊される運命にある。當時の激戦を想起すれば、小高い丘、白亜の壁、餘りにも平和すぎる風景だが、その底には再び激しい建設の意欲が流れてゐるのだ。ふと、しみんとした感徳が催されて、しばしスコップの手を休

(關西學院大學生手記)



北京東軍練兵場で北支派遣軍最高指揮官多田中將の閱兵  
奉天發端の地一文字山日本のおばさん達から心づくしの接待を受け  
仕事に對當  
高麗山で催された日支學生交歓會、餘興の支那芝居に見入る一同



味と香りと色の調合の美

# 明治紅茶

純國産  
代表的優良種



明治製菓株式会社

青雫(高級品)  
黄雫(普及品)



敬愛妻仕

長野市 酒井 俊太郎  
長野市神町の理髪業小山とし子さんは、養育院の託児所と児童保育所に出入り、個人二人と共に四十名の幼児達を園庭でかほる。敬愛、子供は勿論、関係者等も感激させられた。

モリス・ファルマン機とが

九月二十八日行はれた東京飛行場での航空大会は萬餘の觀衆を集めて極めて盛會であつたがその日の呼物モリス・ファルマン機は往年の名パイロット尾崎行雄氏の操縦で然る四百米を飛



患者輸送車

東本願寺の婦人法話會では全國會員が協金しての程三機の救急自動車を買納した。現在京都、津、福知山の三病院で傷病兵輸送に活躍してゐる。



復習

- 1 日獨伊三國條約によると、もし日本が現在戰國を交へてゐない一國から攻撃をうけた場合、獨伊兩國はどうする義務がありますか？ (9頁)
  - 2 ドイツが再軍備を宣言してから何年になりますか？ (3頁)
  - 3 上海の廣中路にはこんど何が建設されることになつてゐますか？ (22頁)
  - 4 十月七日から十一日まで全國のに行はれてゐる運動は？ (18頁)
  - 5 ヴェルサイユ條約によつてドイツはどれ位の賠償金を課せられましたか？ (50頁)
  - 6 マルク？ 五百億マルク？ 一千億マルク？ (4頁)
  - 7 日に編成された勤勞奉仕團。スペインの國防義勇軍團？ スペインの國防義勇軍團？ 次代のファシスト養成のためイタリヤ青少年團？ (英國の軍需品密輸團？) (7頁)
  - 8 日獨伊三國條約の有効期間は三年？ 五年？ 十年？ 五十年？ 九十九年？ (9頁)
  - 9 マルタ軍港はこの國のものですか？ フランス？ ドイツ？ イタリヤ？ イギリス？ (6頁)
  - 10 次の○の中に適當な文字を入れて下さい (17頁)
- 新○制一〇〇に○がつき (17頁)
- 10 國立の傷病軍人職業輔導所は全國で三つありますが、どこどこでせう？ (14頁)
- 一問十點としてあなたは何點でしたか



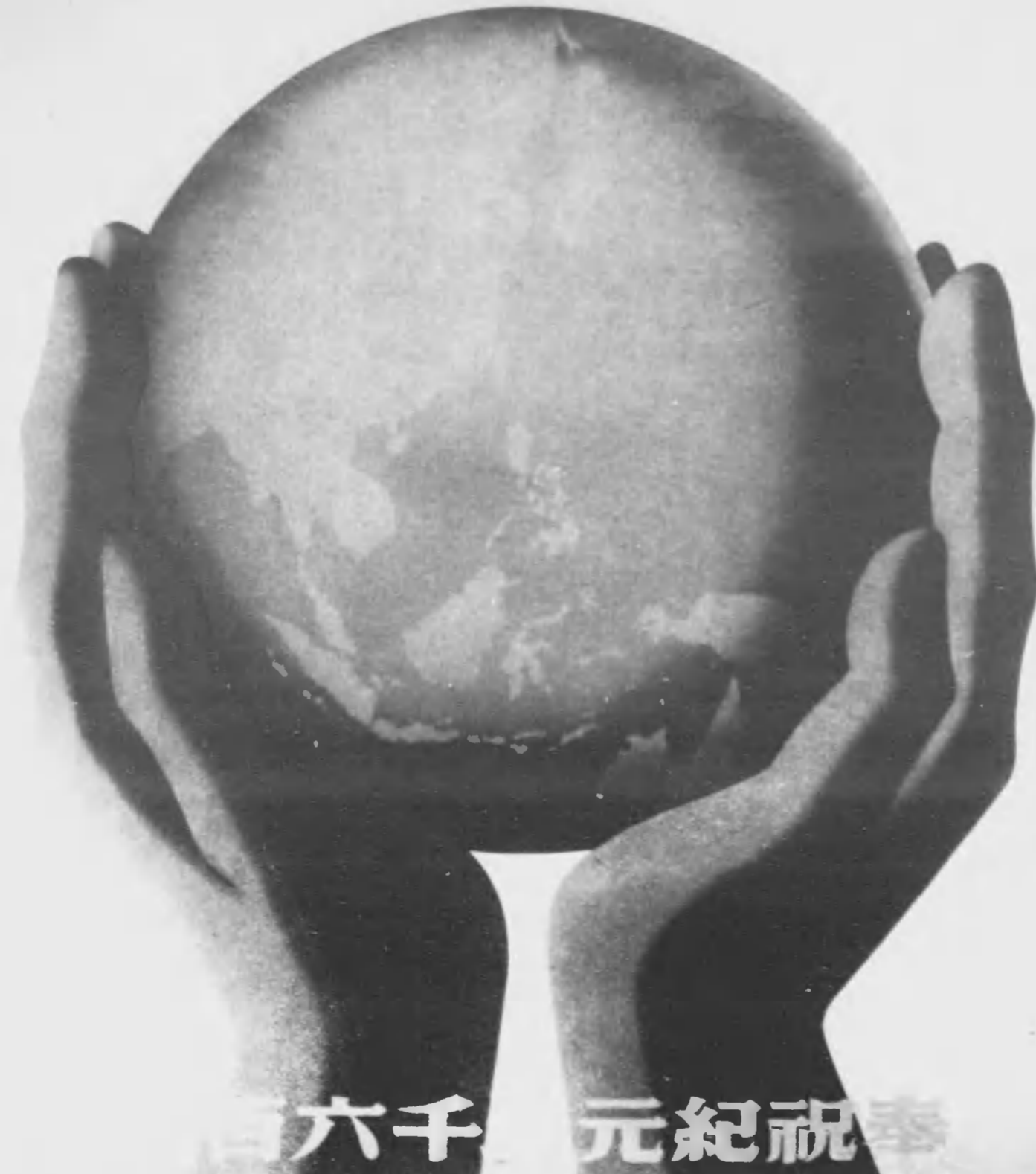
★表紙  
國の内外に新時代の夜が明ける。三年前に比べて何といふ變り方であらう  
『あなたの貴い横顔が今こそ實を結びました』  
と秋の七草を手向ける未亡人。今日胸の悲しみを洗つて吹く季節の新風も爽やか  
撮影 梅木 忠男

寫眞週報(禁轉載)

昭和十五年十月九日印刷發行  
編輯部 内閣情報部  
東京市神田區永田町  
印刷部 内閣印刷局  
東京市神田區大塚町

所 達 申	價 定
全國各地官報販賣所 東京市神田區永田町 各書店・郵便局 各新聞・販賣店 寫真材 料店	一部 十錢(送料共) 送外郵便に依る地域は ▲送料共一部十九錢 ▲送料共二部十九錢 ▲送料共三部十九錢 ▲送料共四部十九錢 ▲送料共五部十九錢 ▲送料共六部十九錢 ▲送料共七部十九錢 ▲送料共八部十九錢 ▲送料共九部十九錢 ▲送料共十部十九錢 ▲送料共十一部十九錢 ▲送料共十二部十九錢 ▲送料共十三部十九錢 ▲送料共十四部十九錢 ▲送料共十五部十九錢 ▲送料共十六部十九錢 ▲送料共十七部十九錢 ▲送料共十八部十九錢 ▲送料共十九部十九錢 ▲送料共二十部十九錢

真週報 昭和十五年九月九日 郵政省特許認可 昭和十五年九月九日發行 每份五分



奉祝紀元六千

# 支那變遷國情

郵傳部出版 計冊十部 十一月一日

藏省

內閣印刷局印刷發行

印刷部 印刷局 印刷發行